

SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業 を結ぶ情報紙 — 地域版 —

発行日：2014年 7月1日(火)

地域企業紹介 その 31 株式会社サワ

スーパーヒンジで 世界を変える！

山梨県上野原市の上野原工業団地内にある半導体製造装置部品の製造とスーパーヒンジの開発製造を営む株式会社サワ本社を訪ね、佐波 和社長から話をお聞きました。大正12年4月、山梨県都留市で父親の芳雄氏が織機の修理を行う会社として佐波鉄工所を創業。間もなく織機の製造も手掛ける。昭和17年には株式会社佐波鉄工所を設立し、艦用双眼鏡のフレームなどをつくる軍事工場となる。当時は戦時中であったこともあり、従業員は200人を超えた時期もあったという。終戦とともに織機メーカーに戻るが終戦の混乱期でもありフライパンや製麺機などなんでもやったそうだ。

佐波社長は、大学を卒業した昭和37年に専務として入社し、翌年に父親が倒れ、24歳の若さで代表取締役代行となる。当時は、すでに繊維産業が低迷しつつあったため、織機メーカーとして培った技術を武器に東芝やNECの精密機械部品の金型や部品製造の分野に進出する。その後、半導体製造装置メーカーの東京エレクトロンの部品製造を手掛けることになる。東京エレクトロンが半導体製造装置メーカーとして世界でその地位を築くのと歩調を合わせるように同社も大きく成長していくことになる。半導体が世に出たばかりの時期であり、その先行きがよくわからず、高校の同級生が日本政策金融公庫にいたので聞いてみると「この産業、この企業はすごく伸びる」と言われたそうだ。持つべきものは友人である。また、佐波さんはなかなかのアイデアマンで山梨特産の桃の選別機やボーリングシューズの自動貸出機などを考案し、億単位の事業に育てた経験を持つ。こうした発明の集大成ともいえるのが「スーパーヒンジ」の開発だ。

(2面につづく)

株式会社サワ

代表取締役 佐波 和 (さわ たかし)

所在地：山梨県上野原市上野原8154-34

従業員数：45名 資本金：1,000万円

売上高：5億4千万円(平成25年度実績)

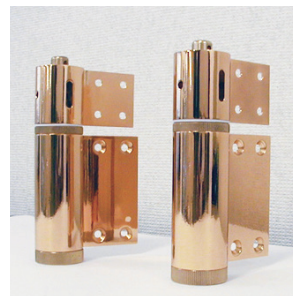
事業内容：半導体製造装置の部品加工・部品加工・組立専用機の開発、精密治具の加工、建築用の金属製品・プラスチック製品の製造・販売



ある時、住宅用のカギメーカーからスーパーヒンジをつくれないかとの相談があった。平成11年頃から研究開発に着手した世界で初めての小型化・軽量化を実現したドアクローザー一体化スーパーヒンジは本格的な事業化まであと一歩のところまで来ている。従来の油圧式ではなく真空装置のノウハウを生かしたエアダンパーシステムにより、押し戻しが軽く、ドアを開けると90度前後で止まり、閉めるとゆっくりと閉まる。そのため、ドアに指を挟む危険もなく、車いすでも楽に出入りできるなど、安全性に優れている。さらに、油圧式によるオイル漏れや気候により作動が変化する不具合もなく、耐久性やパフォーマンスも抜群だ。これまでに「グッドデザイン賞」など多くの賞を受賞している。

今後は国内だけではなく海外進出を目指しており、SICが主催した「台湾環境・建築ビジネスマッチング」にも参加している。「海外のドアの多くはスーパーヒンジが普及していない。当社のスーパーヒンジは、室内ドアであればあらゆる素材や形状に対応できるので、潜在的な市場規模は計り知れない」と言う。

若き日に夢中になったバイクや海の素潜り。そして、たくさんの発明。佐波さんの夢にあふれた面白い人生はまだまだつづく。



スーパーヒンジ

IT経営で儲かる企業体質づくり

株式会社東京IT経営センター

顧客の「儲けの仕組み再構築」を目的に支援サービスを行っている(株)東京IT経営センターをご紹介します。

田中 渉社長は、長く日本ユニバック(株)(現日本ユニシス(株))に勤め、真空管からトランジスタそしてICへと移り変わるコンピューターの歴史を見て歩んできました。国内のみならず、海外駐在の経験から、ITありきではなく、経営戦略ありきのシステム導入が必須であると言います。

同社は、パートナーである全国のITコーディネータと共に、ITを積極的に活用した経営のPDCAサイクルの仕組みの構築から運用までの支援を行う事で、企業の成長を支援しています。まずは、気軽にご相談ください。ヒアリングまたは企業力診断(無償)を行い、提案・見積もりをお出ししています。



主な支援

1. IT活用の業務変革プロジェクト支援 (経営戦略、IT戦略及びシステム導入)
2. 営業力強化支援
3. 業務工程の見える化による課題解決支援
4. 情報システム運用上の課題解決支援
5. 戦略的情報活用支援
6. 経営幹部、管理者育成(経営者コーチング)
7. クラウド(SaaS/ASP)ソリューションの紹介・導入支援



「企業を取り巻く環境はますますスピードを上げて変化しています。しかしながら10年前の仕事のやり方と変わっていない企業が多くあります。今、企業には「変わる力」が必要です。そのためには足腰(経営の土台)を強くしなければなりません。これまでの支援経験から、土台作りの最も大事なことは人の育成と考えています。社員が活き活きしている会社が順調に伸びています。最初も人、最後も人、育てるしかありません。縁があって仲間となった社員の可能性を信じ本気で育てることが肝要です。」と話す田中社長です。



「アジア経済事情と海外進出事例」

日本貿易振興機構(JETRO)にご協力していただき、6回シリーズで東南アジア6か国(フィリピン、マレーシア、タイ、インドネシア、ベトナム、カンボジア)の経済事情とJETROの支援サービスを受けて海外進出した事例を紹介します。

ーフィリピン経済ー

2013年のフィリピン経済は、好調なサービス産業、輸出の回復、旺盛な個人消費が原動力となり、実質GDP成長率は7.2%となり、アジア主要国の中でも高い成長率となっている。2013年の貿易動向をみると輸出は、2年連続で増加し、567億ドル、輸入は前年比1.1%増の624億ドルで13年連続の入超となっている。最大の輸出相手国は日本、米国、中国の順。輸入相手国は中国、米国、日本の順。日本は2009年から5年連続して最大の貿易相手国となっている。

日本とフィリピンの貿易を品目別にみると、フィリピンから日本への輸出は電気機器(構成比35.3%)、果実及び野菜(同10.3%)、一般機械(同10.1%)の順になっている。日本からフィリピンへの輸出は電気機器(31.9%)、一般機械(16.9%)、輸送機械(11.7%)となっている。

2013年のフィリピンへの直接投資(認可ベース)は過去最高を記録した2012年より5.4%減の2,740億ペソとなっている。日本からの直接投資は、国・地域別で2009年から3年連続でトップの座にあったが2012年は2位、2013年は第3位と後退している。

フィリピンの主要経済統計(2013年)

人口(人)	9,748万人
GDP	2,720億米ドル
一人当たりGDP	2,790米ドル
実質GDP成長率(%)	7.2
消費者物価上昇率(%)	2.9
失業率(%)	7.1
経常収支(100万米ドル)	9,423
貿易収支(サービスを含む 100万米ドル)	-11,958
為替レート対米ドル(1ドル=)ペソ	42.45
為替レート対日本円(1円=)ペソ	0.436
主要政策金利(%)	3.50

(出所)ジェトロ 海外情報ファイルJ-FILE およびフィリピン中央銀行資料から作成

ー進出企業とJETRO支援サービスー

各種小型DCギアドモーター、各種スポーツタイマーなどの製造、販売を行っているツカサ電工株式会社(東京都中野区)は2002年に中国深圳に製造拠点を設立したが、中国リスクを回避するため、第二の海外製造拠点を東南アジアに作ることを検討していた。候補にあげたフィリピンには、精密機器部品のサプライヤー2社及びATM、自動販売機のメーカーなどの客先が既に進出しており、ビジネスに直結できるメリットがあった。

ジェトロの「新興国進出個別支援サービス」で担当となった専門家がツカサ電工とともにフィリピン出張にも同行し、幹部社員採用、就業規則作成などに協力した。一方、ツカサ電工の製造法人TSUKASA ELECTRIC PHILIPPINES INC. が当初適当と考えていた工場団地は、セキュリティゲートから予定していた場所まで離れすぎている問題があって、日本の商社が開発した工場団地に用地を切り替えざるを得なかったが、2013年秋に証券取引委員会、フィリピン経済区庁への登録を済ませ、2014年5月に操業開始の運びとなった。

ジェトロの専門家が、サプライヤーの精密部品メーカーフィリピン法人のGeneral Manager として6年間フィリピンに駐在した経験を持っていたことが大いに役立った。

フィリピン(セブ)の主な投資関連コスト(2013年)

		米ドル	現地通貨(ペソ)
賃金	ワーカー(一般工職)月額基本給	202	8,707
	エンジニア(中堅技術者)月額基本給	400	17,274
	中間管理職(課長クラス)月額基本給	793	34,231
	名目賃金上昇率	2011年…7.02%、2012年…7.21%	
	社会保障負担率(事業主負担率)	12.3%	
土地	工業団地(土地)購入価格(1㎡) ※セブライトインダストリアルパーク	74~78	3,300~3,500
	事務所賃料(1㎡、月額) ※セブ・ビジネスパーク	8.96~11	400~475
エネルギー	業務用電気料金(1 kWh)	0.21	9.45
	レギュラーガソリン(1ℓ)	1.17	52
税	法人所得税	30%	
	付加価値税	12%	

(参考)ジェトロ「第24回アジア・オセアニア主要都市・地域の投資関連コスト比較」より

山本のめしやレポート

鰻専門店「富久柳」 ふたたび編

橋本に美味しい鰻あり。いろいろな店で鰻を食べてきましたが、なかなかこんなに美味しい鰻屋には巡り会えません。隠れた名店ですね。SICから徒歩13分。機械金属工業団地の近くで店を構えて30数年。良質な水で育てた国内産の活鰻を毎日厳選し、備長炭でふっくらと焼き上げます。秘伝のタレは30数年引き継がれたもの。上品であっさりした味です。2007年にも紹介しましたが、暑い季節を迎えふたたび登場です。皆さん、美味しい鰻を食べて幸せになりましょう。

「富久柳」相模原市緑区西橋本1丁目19-10 Tel. 042-772-5843 定休日:月曜日



うな重 特上

山本のめしやレポート



首都圏南西地域の近未来地図と 産業創造

日時: 7月2日(水) 16:00~19:30
場所: 町田市民フォーラム ホール(3F)
参加費: 無料



企業と大学就職課の 交流会(サガクナピ)

日時: 7月9日(水) 16:00~18:30
場所: サン・エールさがみはら 第1研修室
参加費: 5,000円/1名(当日、受付にてお支払ください)



第6回創・蓄・省エネフォーラム 「生命とエネルギーの源・水を科学する」

日時: 7月28日(月)
場所: サン・エールさがみはら 3階第1会議室
定員: 40名 参加費: 無料



The HINT 14

○展示会出展のヒケツ!

テーマ: 「展示会出展のヒケツ!」

～魅力あるブース作りや出展補助金のご紹介～

講師: ワンプromーション(株) 代表取締役 榎間 一緒 氏

日時: 7月17日(木) 場所: SIC-2 大会議室 参加費: 無料

新興国進出 個別支援サポート

応募は今すぐ!



第3回目の利用企業の募集を開始しました。

ジェトロ専門家による「新興国進出個別支援サポート」

海外拠点設立など新興国進出をお考えの中堅中小企業様を
ビジネス経験豊富なジェトロの専門家がお手伝いします。

詳しくは <http://www.jetro.go.jp/services/expert/>

お問い合わせ先: ジェトロ人材開発支援課

〒107-6006 東京都港区赤坂1丁目12番32号 アーク森ビル6階

Tel: 03-3582-5397 E-mail: bue-shien@jetro.go.jp

平日9時~12時/13時~17時(祝祭日、年末年始を除く)



2014.7

SIC EVENT CALENDER イベントカレンダー

7月2日(水) 第29回南西フォーラム

7月9日(水) 大学と企業の交流会(サガク)

7月17日(木) SICミニセミナー The HINT 14

7月28日(日) 第6回創蓄省エネフォーラム

8月15日(金)~17日(日) さがみはら子どもアントレプレナー体験キャンプ

9月13日(土) カイゼン・スクール開講

アンケート結果や参加者の声を掲載しています。
詳しくは、SICホームページをご覧ください。

<http://www.sic-sagamihara.jp>

編集後記

先月、恒例の4事業の申込メ切でした。アントレ・インターンシップには16名、子どもアントレプレナー体験キャンプには48名の定員に対して268名(5.58倍)、SIC職場リーダー養成塾には16社19名、SIC経営塾には9名のお申し込みをいただきました。年内で終了するもの、来年2月までの長丁場のものと色々ですが、どれも長寿の人気事業です。紙面やHP等で報告してまいります。

入居企業を募集してます。

SIC空室情報 (2014年6月24日 現在)

部 屋	空 室 数	賃料/月額 (共益費・消費税別)
SIC-1 スモールオフィスB (17.3㎡)	2	47,600円
SIC-2 オフィス (50.2㎡)	1	149,600円
SIC-3 現在空室はありません	-	-



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話: 042-770-9119 FAX: 042-770-9077
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想を
お待ちしております。

ウェブサイト <http://www.sic-sagamihara.jp/>